

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	こどもデイサービス AELL（あえる） 単位1		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 13日		R8年 3月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	R8年 3月 20日		R8年 3月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して過ごせる環境づくりを大切にし、情緒の安定につながる支援を行っている。	一日の流れを分かりやすく提示し、見通しを持って過ごせるようにしている。 また、不安や戸惑いが見られる際には、個別に寄り添った対応を行い、安心感を積み重ねられるよう関わっている。	環境設定や関わり方について職員間で共有を深め、より安定して過ごせる支援体制を整えていく。
2	活動を通して、自己選択や自己決定の機会を大切にし、主体性を育てる支援を行っている。	複数の活動を提示し、自分で選ぶ機会を設けることで、意欲的に参加できるようにしている。 また、選択した活動を最後までやり遂げられるよう、適切な声かけやサポートを行っている。	選択肢の幅を広げるとともに、お子様の興味関心に応じた活動内容の見直しを行い、より主体的に取り組める環境づくりを進めていく。
3	ご家庭との連携を大切にし、日々の様子や成長を共有しながら支援を行っている。	連絡帳アプリや送迎時のやり取りを通して、細やかな情報共有を心掛けている。 また、ご家庭での様子も踏まえながら、支援内容の調整を行っている。	保護者との情報共有の機会をさらに充実させ、定期的な面談や相談の場を設けることで、より一体的な支援につなげていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容の見える化が十分でない。	日々の支援は行えているが、その意図やねらいが記録や共有の中で明確になっていない場合がある。 また、職員間で共通認識として整理されていないことがある。	支援の目的やねらいを明確にした記録を行い、誰が見ても分かる形で整理する。 また、支援内容の言語化を意識し、共通理解を深めていく。
2	活動中の役割や目的の共有が不十分な場面がある。	活動は実施できているが、職員ごとの役割や関わり方の認識にズレが生じることがある。 また、その場の対応に委ねられることがある。	活動前に目的や役割を簡単に共有する時間を設ける。 また、振り返りを行い、次回に活かせるようにしていく。
3	事業所全体としての強みの発信が十分でない。	日々の支援は充実しているが、それを対外的に発信する機会や手段が限られている。 また、情報発信の役割が明確になっていない。	活動の様子や取り組みを積極的に発信し、事業所の特色が伝わるようにする。 また、情報発信の担当や方法を整理し、継続的に行える体制を整えていく。

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	こどもデイサービス AELL（あえる） 単位1		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 13日		R8年 3月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	R8年 3月 20日		R8年 3月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりの特性やベースに合わせた個別支援を行い、安心して過ごせる環境を整えている。	日々の関わりの中で、小さな変化や成長にも気付けるよう職員間で共有を行い、支援内容に反映している。 また、成功体験を積み重ねられるよう、段階的な関わりを意識している。	個々の特性理解をより深めるため、記録の充実や振り返りの機会を増やし、より質の高い個別支援につなげていく。
2	活動を通して、自己選択や自己決定の機会を大切に、主体性を育てる支援を行っている。	複数の活動を提示し、自分で選ぶ機会を設けることで、意欲的に参加できるようにしている。 また、選択した活動を最後までやり遂げられるよう、適切な声かけやサポートを行っている。	選択肢の幅を広げるとともに、お子様の興味関心に応じた活動内容の見直しを行い、より主体的に取り組める環境づくりを進めていく。
3	ご家庭との連携を大切に、日々の様子や成長を共有しながら支援を行っている。	連絡帳アプリや送迎時のやり取りを通して、細やかな情報共有を心掛けている。 また、ご家庭での様子も踏まえながら、支援内容の調整を行っている。	保護者との情報共有の機会をさらに充実させ、定期的な面談や相談の場を設けることで、より一体的な支援につなげていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容の見える化が十分でない。	日々の支援は行えているが、その意図やねらいが記録や共有の中で明確になっていない場合がある。 また、職員間で共通認識として整理されていないことがある。	支援の目的やねらいを明確にした記録を行い、誰が見ても分かる形で整理する。 また、支援内容の言語化を意識し、共通理解を深めていく。
2	活動中の役割や目的の共有が不十分な場面がある。	活動は実施できているが、職員ごとの役割や関わり方の認識にズレが生じることがある。 また、その場の対応に委ねられることがある。	活動前に目的や役割を簡単に共有する時間を設ける。 また、振り返りを行い、次回に活かせるようにしていく。
3	事業所全体としての強みの発信が十分でない。	日々の支援は充実しているが、それを対外的に発信する機会や手段が限られている。 また、情報発信の役割が明確になっていない。	活動の様子や取り組みを積極的に発信し、事業所の特色が伝わるようにする。 また、情報発信の担当や方法を整理し、継続的に行える体制を整えていく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービス AELL (あえる) 単位2		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 13日		R8年 3月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	R8年 3月 20日		R8年 3月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来を見据え、自立に向けた力を育てる支援を行っている。	自分で考えて行動する機会を大切に、選択や判断の経験を積めるよう関わっている。 また、できることを少しずつ増やしていけるよう段階的な支援を行っている。	個々の課題や目標に応じた支援を強化し、将来の生活を見据えた関わりをさらに充実させていく。
2	集団活動を通して、対人関係や協調性を育てる支援を行っている。	グループでの活動や作業を取り入れ、役割分担や協力する経験ができるようにしている。 また、トラブルがあった際には、気持ちの整理や伝え方について丁寧に関わっている。	関わりの中で得た経験を振り返る機会を設け、より良いコミュニケーションにつなげていく。
3	ご家庭との連携を大切に、日々の様子や成長を共有しながら支援を行っている。	連絡帳アプリや送迎時のやり取りを通して、細やかな情報共有を心掛けている。 また、ご家庭での様子も踏まえながら、支援内容の調整を行っている。	保護者との情報共有の機会をさらに充実させ、定期的な面談や相談の場を設けることで、より一体的な支援につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容の見える化が十分でない。	日々の支援は行えているが、その意図やねらいが記録や共有の中で明確になっていない場合がある。 また、職員間で共通認識として整理されていないことがある。	支援の目的やねらいを明確にした記録を行い、誰が見ても分かる形で整理する。 また、支援内容の言語化を意識し、共通理解を深めていく。
2	活動中の役割や目的の共有が不十分な場面がある。	活動は実施できているが、職員ごとの役割や関わり方の認識にズレが生じることがある。 また、その場の対応に委ねられることがある。	活動前に目的や役割を簡単に共有する時間を設ける。 また、振り返りを行い、次回に活かせるようにしていく。
3	事業所全体としての強みの発信が十分でない。	日々の支援は充実しているが、それを対外的に発信する機会や手段が限られている。 また、情報発信の役割が明確になっていない。	活動の様子や取り組みを積極的に発信し、事業所の特色が伝わるようにする。 また、情報発信の担当や方法を整理し、継続的に行える体制を整えていく。